

たたかう労働組合・回転寿司ユニオンに総結集して、労使関係正常化闘争を完遂しよう！

労使関係の正常化をめざして

15

2026/3/25

編集・発行：回転寿司ユニオン

はま寿司の企業内組合、カレンダー作成費用増などで組合費を引上げ 「交渉費用」「闘争資金」などの観点はまるでなし！

はま寿司の企業内組合は、今年4月より組合費の引上げを行なうようだ。引上げ幅は、正社員は2倍、クルーでも1.5倍の規模となる。

本来、他労組の組合費についてあれこれ論じる筋合いはないが、今回の問題はその引上げの理由だ。組合費引上げを周知する「CONNECTニュース」通巻510号によれば、その理由は①災害時の見舞金対応のための貯蓄、②福利厚生充実（東京ディズニーランド、ユニバーサルスタジオジャパンの2000円割引補助の導入など）、③物価高騰による費用増のため（ユニオンカレンダー作成など）だという。

これを見れば、はま寿司の企業内組合は労働組合ではなく共済会かなにかなのかと思ってしまう。もちろん共済事業も労働組合の本質的な事業のひとつであり、回転寿司ユニオンでも「たすけあい」の精神の具体化としてさまざまな共済制度があるが、それでも労働組合のもっとも本質は労使交渉による要求実現である。にもかかわらず、企業内組合の引上げ理由をみると、そのような姿勢はまったくみられない。御用組合でもいちおう労働組合の体裁をとるために「闘争資金の積上げ」の一言くらいは入れると思うのだが、はま寿司の企業内組合はそれすらも会社の顔色をうかがって書けないのではなからうか。

しかし、入りたくて入った組合ならまだしも、強制的に加入させられた組合で、「ユニオンカレンダー作成」のために汗水垂らして手にした賃金の一部を天引きされるとは、こんなバカバカしい話はあるまい。一刻も早く、ひとりでも多くのクルーのなかまのみなさんが回転寿司ユニオンに結集されることを強くよびかける。

ホームページにハリボテ「従業員相談窓口」設置も、誰が相談できる？

企業内組合のホームページが最近更新され、新たに「従業員相談窓口」と題するページが公開された。

ところで、このページ内には具体的な相談先のリンクなどはなく、下に「相談は事務所にある、はま寿司ユニオン従業員相談ラミネートのQRコードからお願いします。」と書かれている。まさにハリボテページだ。

当該ページには「あなたの困った声を聞かせて」などと書かれているが、企業内組合の役員の前・現役職をみると、池田徹執行委員長：北関東BM、高野芳彰執行副委員長：店舗調査課SV、石田康夫書記長：人財開発室室長、藤川みなみ副書記長：人財育成室障がい者雇用推進課主任、といった具合であり、こんなところに店長やAM、BMから受けたハラスメントについてクルーが安心して相談できるわけあるまい。

にもかかわらず、なぜこのようなハリボテページをつくったのか。もちろんアリバイづくりという面はあるだろうが、それよりも回転寿司ユニオンに全国のクルーから多数の労働相談が寄せられていることに、危機感をおぼえているのだろう。

現に「はま寿司 労働相談」などでGoogle検索すると、回転寿司ユニオンの労働相談ページが最上位に出てくる。また、生成AIでも「はま寿司の従業員（クルー・社員）の相談窓口は、労働環境や悩みに関する場合、「回転寿司ユニオン」が対応しており、電話（03-5395-5359：火・金17-21時）やメールで24時間相談可能です。」と案内してくれる。会社と企業内組合は、これがよほど嫌なのだろう。

しかし、職場に「従業員相談ラミネート」なるものを配置しているのに多くの相談が企業内組合ではなく回転寿司ユニオンに来るとするのは、よほど企業内組合が信用されていないか影が薄いのだろう。その解決策は、ハリボテホームページをつくることではなく、養殖組合としてのこのかんの蠢きを真摯に反省し、真にクルーの立場にたった労働運動をつくることではなからうか。